

平成23年度第1回美術館協議会 議事録

- 1 日時 平成23年11月8日(火)午後2時～
- 2 場所 美術館総合実習室
- 3 出席者 協議会委員：11名
・宇野五千雄 ・秋山弘 ・鶴田一杏 ・古屋知子 ・齊藤武士
・金丸康信 ・鈴木郁子 ・植松増美 ・渡辺文子 ・島津久美子
・原まゆみ ・大村智
事務局：白石館長・高山副館長・向山学芸幹・古屋総務課長
美術館担当3名・指定管理者2名
教育委員会：小林教育次長・高橋学術文化財課長・企画担当1名

4 議事

平成23年度事業及び今後の計画について

5 議事の概要

- A委員： 監視という言葉は、きつい印象がある。もっと優しい言葉はないか。
事務局： 以前から監視という言葉が使われてきたので、そのまま使ってきた。ミュージアムアテンダントなど別の言い方もあるが、一般的ではない。
- B委員： ロビーコンサートにはどんなアーティストを呼んでいるのか。また企画など苦労していることはあるか。モーリス・ドニ展の延期による損失はあったか。
事務局： ロビーコンサートは、元々、県が実施していたのを指定管理者になってからも引き継いだものである。より来館者に楽しんでもらうため、指定管理者から司会が出て案内を行うこととした。出演者は基本的には県内のかたでプロからアマチュアまで幅広い。定着していたので、出演者探しに困るということはないが、出演者を調整する方が大変という状況である。たくさんの方に楽しんでいただくために来館したお客様にも声をかけているが、出演者がご自身の身内等に声かけ来てくれることも多い。SPS としては、ロビーコンサートだけを目的に来館された方たちにも展覧会を見てもらうよう働きかけをしている。
- 事務局： モーリス・ドニ展については、震災による影響で急に延期になったことから、既に印刷したチラシや招待状は、開催期間などが入っているため使えなくなったが、それ以外に大きな損害はない。開催時期が冬になるのが心配である。
- C委員： こういう先が見えない時期だからこそ芸術が求められているのではないか。今こそ美術館に期待したい。順調に経済が発展している時と違う取り組みが必要である。毎年展示が充実していると思うが、山梨県立美術館はミレーが特徴であるが、できることならミレーを縦軸に横軸がもう一つあってもいいと思う。企業はがんばりではなくて、組織の理念で勝負している。その理念を明確にして具体化する中で組織が強化され、社員一人一人の能力が高まって事業が成功するというサイクルをねらっている。ここ2～3年の間、こういうものを強化するんだという考え方も必要ではないか。特色を確立して頑張ってもらいたい。参考に考えていただければいいなと思う。
- D委員： 理念の話は大変いい話だと思う。
- E委員： 川端展会期中にガールスカウトのリーダー対象の研修会を行わせてもらい、ア

ートレクチャーやロビーコンサート等を体験した。会員からは、貴重な話が聞けて大変すばらしかったという話があった。丁寧な対応をしていただいたという話を聞き、関係者としてうれしかった。事前にHPを見て電話で受付をしたが、教師のための鑑賞研修会等の事業を開催する際には、各種団体の長にも通知を出して参加を促してもらいたい。

事務局： 貴重なご意見である。教師のための鑑賞研修会は、学校の先生にこだわりすぎたかもしれないので、前向きに検討したい。

F委員： 図書室の本は貸出しできないことになっているが、雑誌のような本は貸出しできないか。また、県庁に防災新館を建てると県民会館を取り壊し、地下の展示場がなくなるのと聞いているが、県民会館のような公立の展示場が少なくなり県立美術館の県民ギャラリー利用の希望がさらに多くなると思う。より多くの方々の活動に利用して頂き、それに伴い多くの県民が訪れてくれれば良いと思う。

G委員： 浅川展はUTYも共催でやらせてもらうが、事前の広報にも協力して盛り上げていきたい。是非委員のみなさんにも見ていただきたい。

事務局： C委員から、ミレーの他に中期の方針について具体的にあればとのご意見についてお話しします。今更ミレーかという話もあったが、やはりこの館の売りはミレーであり、まだまだミレーを全面に売り出す必要がある。もう一つは、地元関連の作家の調査研究である。今回は浅川兄弟の展覧会を行ったところだが、県立の施設として地元の作家について、地道だが今後も調査研究をやっていかななくてはならないと考えている。この二つはきちんとやっていく必要がある。更にもう一つは、教育普及活動への積極的な取り組みである。今行っている事業も参加者から評判が良く、一旦はじめるとなかなか止められないところだが、事務量に比べて対応する職員が少ないことから、スクラップ&ビルドをしながら、更に良いものになるよう取り組んでいきたいと考えている。